

アイテム活用状況H19年度のまとめ

H19. 6. 4 (月) 7月9日追加分は下線 9月25日追加分はゴシック体 11月26日追加分はボツ体で斜体 2月12日追加分は行書体

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
宿題		・なし	・なし (わからないと親がすぐに教えてしまうこともあるので) ・宿題にしなくても時数的にできそう。		・宿題あり 基礎・発展のどちらかを選択させて行っている。 ・〇つけ後提出させている。	・宿題あり ・計算ドリルを出すことが多い 時間を計測 正確さを求めて 基礎をやらせることもある。 ・一年のまとめとして今までの復習を自主勉強で。	・自分でやってきている子も多い。
内容	テーマ ・練習しよう ・たしかなものにしよう (基礎)	・授業中に活用 ・全員で確かめながら行っている。	・説明をよく読んでから、わからないところは個別指導で行う。	・授業の中で活用し、終わらないと宿題にしている。 ・全員やっている (単元によって異なる)	・全員やってくる	テスト対策として活用。 ↓ 自分で理解できるように2、3回くり返している。	・やっていない子が半分程度
	・考える力をつけよう (中間)	・説明を加えて児童に取り組みせ、答え合わせを行う。 ・授業参観で行って見た	・子どもの実態に応じて進ませる ・できる子はどんどんやっていくことにしている。	・単元末で活用 しっかり理解していないとつまづく ・全員やっている(単元によって異なる)	・全員できてほしい願いで取り組ませている。	やっていない子が半分程度自分で選んでやってきている(宿題)数名は発展 ↓ ・1学期研究授業で実施 ・1つの単元について何日か宿題を出す、発展に挑戦する子が増える。	・(夏休み宿題) 自分でレベルを選択してやってきた。
	・発展させよう (発展)	・アドバイスのみの指導 ・一斉指導なし ・個に応じて取り組ませている		・さりと終わりにしている。 ・挑戦程度	・挑戦程度		
	計算ドリル	・発展が終わったら行ってよいことにしている。(個に応じて)	・発展が終わった子は進んでやるようにしている。	・専用のノートを作成 各自で答え合わせ	・専用のノートを作成 各自で〇つけ	・図形は書き込ませた	・昨年とのちがいがいいことまどいもあった。
活用時期		・主に単元末で活用	・主に単元末で活用	・主に単元末で活用 ・学期末の復習で活用 発展的な内容も	・主に単元末活用 ・学期末の復習で活用 発展的な内容も	・主に単元末活用 ・授業中習熟で活用。 ↑取り組みはよくなってきている(自主勉強)	・主に単元末活用 ・授業中の後半習熟で活用
成果		・自己解決ができる子は、意欲的に取り組んでいる。 ・アイテムをやりたがっている子が増えた。 ・楽しみながら取り組めるようになった ・教科書では、扱っていない課題や発展的な問題にも、喜んで取り組めるようになった。	・できる子は楽しそう。やりたそう(4~5人) ・アイテムをやりたがる子が増えた。(時間があればやりたいたいという様子もある) ・いやがる子はいない。 ・豆先生が多くなった。 ・アイテムをやりたがる子が多い。ただし難しい子もやりたがる。	・少しなれてきた ・上位の子は発展させようの問題で考える場面がありよい。 ・分かったときの喜びは大きい。 ・ハードルが高いと上位群は意欲的	・いろいろやれて楽しそう。 ・ドリルは宿題中心で。 ・やりがいはある。	・自分に合った学習を少しずつ考えられるようになってきた。 ・子どもたち同士で学び合いができるようになってきた。 ・悩んで答えが出たときの喜び →更に挑戦してみようと思える。 ・答えは出なくても、考える過程を大切にできるようになってきたか。何名かだが。	・上位の子は進んでやる。 ・むずかしい問題に挑戦してみようなどの意欲につながっている。 ・授業で問題を取り上げてやると挑戦しようという気持ちが高まる。 ・自分のレベルにあわせて使い方を考えている様子がよいと思う。 ・問題が解けた時の喜びが意欲につながる。
課題		・発展的な学習の扱い方 ・家庭学習にはどのように生かしたらよいか。 ・自立解決できる子はできるが、課題をつかめない子が多い。 ・アイテムは文字数が多い。 ・豆先生の育て方が課題。 ・個別指導を工夫したり無理のない課題に取り組ませるようにしていく ・時間がかかる子への配慮が必要	・アイテムだけの指導はよく授業内容を検討しないとダメ ・子どもの実態をみて、コース別も今後検討。 ・アイテムだけではなく教師が問題を加えても良いのでは。 ・教師の教材研究が必要 ・45分ですべて終わる子も ・次の単元には進ませない ・豆先生として活動(ポイントなる点は教師に持ってこさせる) ・アイテムだけで授業実践 ↓ 途中で教科書にもどした。アイテムだと内容が半ページの内容が教科書2ページの内容。 ・単元末で2時間位余裕をみてやるようにしている。まとまるとれる方がよい。 ・3学期できる子は未習のところまでやってしまった。学習後、見直しをしていた。	・考える力をつけようまでは全員に取り組ませたい。(考える時間の確保)単元にもよるが.. ・アイテムは難しいと考えている子も。 ・意欲的に取り組ませる工夫	・この問題集でもここまでは、というところを決めておくと良い ・時間がかかる。 ・一度解いたことが分かるよう書き込むか、問題番号のところに〇をつけて区別する。	・難しい課題に挑戦しようという意欲がまだうすい。 ・とても面白い問題で、児童も意欲的に取り組めるが、時間がかかってしまい進捗が遅れてしまう。 ・果たして私が扱えるのかという不安はある。 ・問題文の読み取りができない。 ・国語の読解力アップが必要。	・下位の子は進まない ・「むずかしい」「わからない」の声も ・できない問題はやらない。 ・挑戦してみようという気持ちが感じられない ・ドリルの扱いについて。 ・教師にとっても難しい ・一回書き込んでしまうと・・・ 答えを写しているだけの児童もいるかも・・・
備考		・教科書では扱っていない考え方があり、教師にも児童にも良い刺激になっている。		・発展問題を選択して全体で取り組ませることにしており、理解に深まりが見られるが、授業時間の確保が難しい。 ・個人差が大きい。 ・計算ドリルを活用できず、計算問題の量が少なかった。 ・上位の子は進んでできた。 ・下位の子は消化しきれない問題も多かった。	・教師がよく考えて課題を出す必要がある。 ・最近書き込ませている。	・図形は発展的な内容をやってきた児童が多かった。 ・書き込みで取り組ませる(10月末頃から)	